

開催日時 10 月 31 日 ( 日 ) 会場 阿須運動公園ホッケー場 天候 曇り

## 【試合結果】

<男子>			
第1試合	法政大学	2	0
9:30		$\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 1 & - 0 \end{pmatrix}$	学習院大学
<女子>			
第2試合	同志社大学	0	2
11:00		$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$	中京大学
<男子>			
第3試合	立命館大学	17	0
12:30		$\begin{pmatrix} 9 & - 0 \\ 8 & - 0 \end{pmatrix}$	新潟大学
<男子>			
第4試合	明治大学	0	0
14:00		$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	朝日大学
		PS 5 - 4	

【試合の結果・詳細】

法政大学 2  $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$  0 学習院大学  
 関東 関東

戦評	試合開始直後から法政大学がペースを握った。前半2分、NO.5大河原夕貴がシュートを決めた。その後も積極的に攻めるが、学習院大学の堅い守りがシュートを決めさせず、前半は1-0で折り返した。後半は法政大学のセンターパスで始まった。そして、開始すぐに法政大学はペナルティーコーナーのチャンスから、No.6徳永早紀がシュートを決めた。序盤から攻めの姿勢を崩さない法政大学に対し、防戦一方の学習院大学。試合終了間際2度のペナルティーコーナーのチャンスを得たが、ゴールには結び付かず、2-0で法政大学が勝利した。
----	--

同志社大学 0  $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$  2 中京大学  
 関西 東海

戦評	試合は同志社大学のセンターパスから始まった。序盤は中京大学が積極的に攻め、ペナルティーコーナーのチャンスを何度も得るが、得点には繋がらなかった。その一方、同志社大学は堅い守りをしながらも、相手チームからボールを奪うと一気に攻めゴールを果敢に狙う。均衡が破られたのは前半26分、中京大学No.8竹川麻美が相手のディフェンスをかわして飛び出し、No.14木方里香が確実にシュートを決めた。後半は両チームとも積極的に攻め合う一進一退の攻防を続けたが、26分に中京大学が再びパスを繋げ、No.16田中梓央里がゴールに押し込んだ。同志社大学も攻め続けたが2-0で中京大学が勝利した。
----	--

立命館大学 17  $\begin{pmatrix} 9 & -0 \\ 8 & -0 \end{pmatrix}$  0 新潟大学  
 関西 東北・北信越

戦評	試合開始から立命館大学がスピードに乗り、前半1分で先制点を挙げる。その後、立命館がアウトレットからの縦パスを上手く使い、FWがドリブルでサークル内へと攻め込む。新潟大学も粘り強い守りを見せるが、立命館の厚い攻め上がりを阻止することが出来ず前半で9点を失う。後半開始すぐ、新潟大学のDF陣からロングパスがFWに通ったが、サークル内まで持ち込めずチャンスをものに出来なかった。後半も立命館は持久力と緩急あるパス回しで新潟大学に得点を許さなかった。17-0で立命館大学が勝利を収めた。
----	---

明治大学 0  $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$  0 朝日大学  
 関東 東海  
 PS 5 - 4

戦評	前半両チームとも譲らないゲーム展開が続く。明治のイエローカードにより朝日がPCを取るも点数に結びつかない。その後、明治が反撃を仕掛け、右サイドからセンタリングを打つがタッチが上手いかずチャンスを逃す。0-0のまま前半が終了。後半開始早々、朝日がPCを取るも決まらずお互いPCの取り合いが続く。両者ともスピードあるMFラインがドリブルで突破しようとするが、堅いDF陣によりなかなかサークルまでたどり着けず決着が決まらないまま後半が終了。PSでも接戦を繰り広げ、5-4で明治大学が勝利した。
----	---